

環境活動レポート

2015年度

【 運用期間:2016年1月1日～2016年7月31日 】



発行:2016年 11月 25日

矢岸総業株式会社

目 次

I. 組織の概要	・・・	P 1～2
II. 実施体制	・・・	P 3
III. 環境方針	・・・	P 4
IV. 環境目標	・・・	P 5
V. 環境活動計画	・・・	P 6
VI. 環境目標の実績	・・・	P 7
VII. 環境活動計画の取り組み結果とその評価 次年度の取り組み内容	・・・	P 8
VIII. 環境関連法規等の順守状況の確認及び 評価の結果並びに違反、訴訟の有無	・・・	P 9
IX. 代表者による総合評価と見直し結果	・・・	P 10

【その他添付資料】

- ・ 環境上の緊急対策
- ・ 環境コミュニケーション受付表

I 組織の概要

1、事業所名及び代表者名

矢岸総業株式会社
代表取締役： 矢岸 貞夫

2、所在地

(本社) 静岡県三島市泉町7-15
(函南営業所) 静岡県田方郡函南町平井1561-13

3、会社履歴

法人設立 2014年2月
資本金 300万円
事業年度 当年8月～翌年7月

2014年 2月:設立 鉄屑及び産業廃棄物収集運搬業・中間処分業
2014年 4月:古物商・金属くず商導入
2014年 5月:警備業導入
2014年 10月:電子マニフェスト導入

4、環境管理の責任者及び担当者氏名、連絡先

環境管理責任者： 矢岸 雅隆
担当者 : 矢岸 寿実子
連絡先 TEL: 055-994-9062
FAX: 055-994-9063
E-mail: yagishisougyou@sky.plala.or.jp

5、事業活動

- ・ 鉄屑及び産業廃棄物の収集運搬業・中間処分業、警備業

6、事業の規模(事業年度:当年8月～翌年7月)

	単位	2014年度	2015年度		
売上高	百万円	38	38		
従業員数	人	4	4		
延床面積	m ²	120	120		

処理実績 2015年度(当年8月～翌年7月)

処理方法等	廃棄物等種類	処理量(t)		
		2015年度	2015年度 1月～7月	
収集運搬	有価物	鉄屑	1180	400
	産業廃棄物	廃プラスチック類	24	14
		がれき類	4,966	3496
		木くず	160	91
中間処分	産業廃棄物中間処分	廃プラスチック類	15.2	9.2

7、産業廃棄物の種類
 <許可品目の総括表>

NO	産業廃棄物収集運搬業			許可品目									
	都道府県	許可NO	許可年月日 及び有効期限	燃えがら	汚泥	廃プラ類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス	コンクリート	がれき類
1	静岡県	第02201176506号	平成26年3月17日 平成31年3月16日			○	○	○		○	○	○	○
2	神奈川県	第01407176506号	平成26年3月27日 平成31年3月26日			○	○	○		○	○	○	○
産業廃棄物処理業				許可品目									
3	静岡県	第02221176506号	平成26年10月21日 平成31年10月20日			○				○			

8、認証・登録の対象範囲

全組織及び全事業活動
 別記「実施体制図」参照

9、保有設備

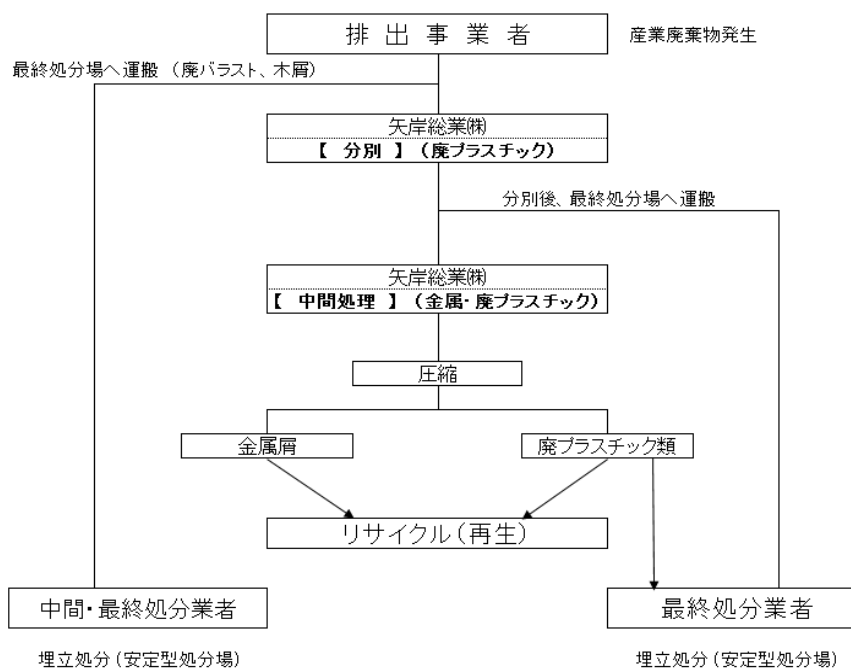
平ボディー車： 4t車:1台 8t車:1台 10t車:1台
 圧縮機： 1t:1台

10、施設等の状況(処分業者のみ)

※処理施設の種類の、処理する産廃の種類、処理能力、処理方式、処理工程図

【圧縮施設】 廃プラスチック類 2.4t/日(8.0時間) 金属くず20.4t/日(8.0時間)

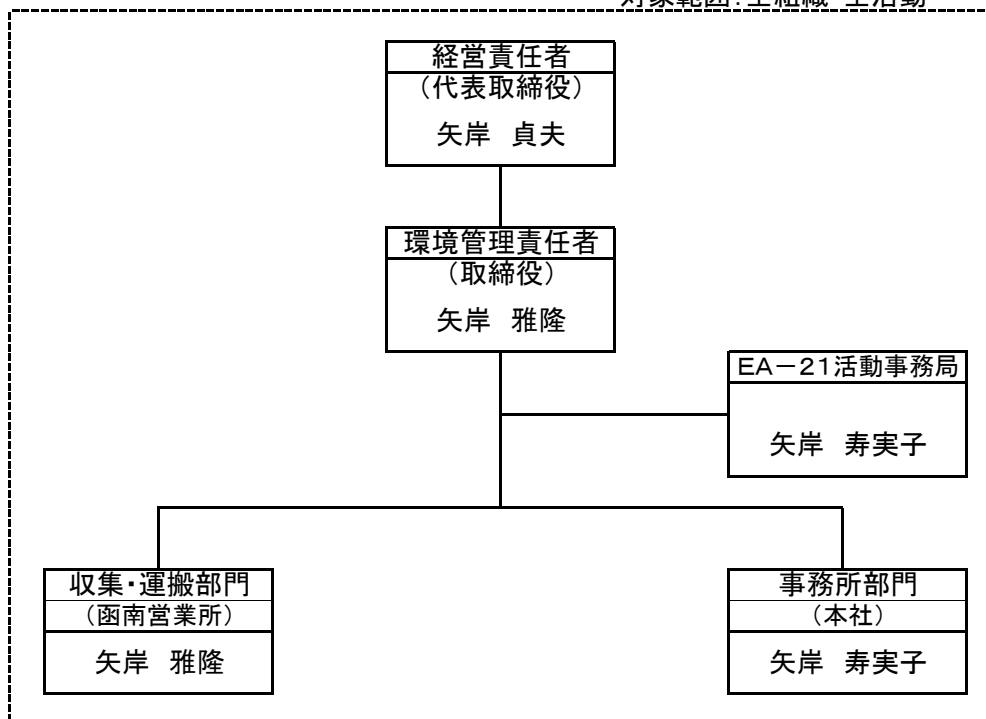
産業廃棄物 発生・処分フローシート



II 実施体制

2016年10月1日現在

対象範囲: 全組織・全活動



<環境管理組織における機能>

経営責任者

- ①環境経営全般に対する責任と権限
- ②環境方針の作成と社員への周知
- ③全体の評価と見直し
- ④実施体制の構築

環境管理責任者

- ①環境経営活動の推進
- ②環境目標及び環境計画の作成
- ③環境経営推進会議の実施
- ④経営者への進捗報告

EA-21活動事務局

- ①各部門のデータのまとめ
- ②活動計画の予実績管理
- ③環境負荷・環境への取組みの自己チェックの実施
- ④環境管理責任者補佐
- ⑤法規制最新版管理
- ⑥文書・記録の管理

各部門

- ①環境計画の実施
- ②月別部門データの集計
- ③問題点の把握と是正の実施
- ④推進会議の出席
- ⑤従業員教育

Ⅲ 環境方針

矢岸総業株式会社 環境方針

[環境経営理念]

矢岸総業株式会社は、地球的規模による環境保全が人類共通の最重要課題であることを十分に認識し、産業廃棄物収集運搬・処分業及び製鋼原料リサイクル業としての企業活動の中で、環境保全を推進していきます

[基本方針]

当社は、環境理念に基づいた環境経営システムを構築し、環境負荷を軽減すると共に、環境に配慮した継続的な活動を展開いたします。

1. 全員で環境保全活動を展開し、二酸化炭素排出量、廃棄物排出量、総排水量の削減に努めます
 - 1) 電気、軽油、ガソリンの省エネルギー活動の推進
 - 2) 自社及び収集・運搬廃棄物のリサイクル向上に努めます
 - 3) 節水活動による水使用量の削減に努めます
2. 環境に配慮した物品の調達
事務用品や用度品のグリーン購入に努めます
3. 環境関連法規制等の遵守
環境関連法規制及びその他の規制を遵守致します
4. 環境コミュニケーションの積極的実施
社内においては、全従業員に環境方針を周知し、全社員参加による取り組みを目指します

制定日 2015年10月1日
矢岸総業株式会社
代表取締役社長 矢岸 貞夫

IV 環境目標

2015年度環境負荷の実績

項目		単位	2015年度	
			通年	1月～7月
二酸化炭素		kg-CO ₂	53,172	31,998
内訳	購入電力	kWh	4,653	2,751
	ガソリン	L	4,674	2,637
	軽油	L	15,033	9,219
	灯油	L	162	90
受託した産業廃棄物処理量	収集運搬量	t	5,148	3,601
	中間処理量	t	24	14
	再資源化量	t	15	9.2
	再資源化率	%	63	65
一般廃棄物排出量		t	0.07	0.04
事業所排出産業廃棄物量		t	8.79	4.8
総排水量		m ³	37	19

短期・中期環境目標

購入電力二酸化炭素排出係数 東京電力(2015年度)の「0.530kg-CO₂/kWh」

項目		単位	基準年度 (2014年度)	2015年度	2016年度	2017年度
二酸化炭素		kg-CO ₂	51,032	-2%	-2.5%	-3%
内訳	購入電力	kWh	4,706	-2%	-2.5%	-3%
	ガソリン	L	2,801	-2%	-2.5%	-3%
	軽油	L	15,949	-2%	-2.5%	-3%
	灯油	kg	72	-2%	-2.5%	-3%
一般廃棄物排出量		t	0.36	年間を通じて把握する		
産業廃棄物処理量		t	3	10%	20%	30%
収集運搬量		t	1575	10%	20%	30%
事業所排出廃棄物量		t	1.76	10%	20%	30%
水使用量		m ³	34	節水活動を実施する		
グリーン購入の推進				調達時はグリーン購入に配慮する		
中間処理に関するクレーム		件	0	0	0	0

* グリーン購入の活動は定性目標とする

* 事業所排出産業廃棄物目標は2m³ボックス以内とする

* 収集運搬量と事業所排出廃棄物量はリサイクル業の為プラス目標とした

V 環境活動計画

目的	区分	項目	責任者	活動項目
二酸化炭素の削減	購入電力	照明	矢岸	①消灯の徹底(1回/週チェックする) ②人感センサーの導入 ③高効率照明機器の導入(LED化)
		空調	矢岸	①温度設定夏28℃ 冬20℃ ②クールビズ、ウォームビズ ③フィルター定期清掃 ④使用していない部屋の空調停止 ⑤遮光対策
		設備 その他	矢岸	①停止時メイン電源OFF
	ガソリン・ 軽油	乗用車 トラック ホーク	矢岸	①エコドライブ ②日常・定期点検の実施 ③省エネ車の導入
廃棄物のリサイクル	事務所		矢岸	①コピー用紙の両面使用 ②封筒の再利用 ③集約化購買 ④3Rの実践 ⑤廃棄物の分別とリサイクル
	産業廃棄物 一般廃棄物		矢岸	①古紙、カン、ビン、ペットボトル等の分別化 ②新規顧客の開拓
節水	上水		矢岸	①節水表示 ②社員への呼びかけ
グリーン購入	事務用品		矢岸	①環境ラベル対応品の購入 ②何回も使える物購入
	用具・器具		矢岸	①環境ラベル登録品の購入
環境に配慮した自社の取り組み (クレーム0)			矢岸	①分別方法を示した冊子を作成 ②顧客との挨拶等の教育 ③収集運搬時の安全運転 ④集積場の清掃

VI 環境目標の実績

運用期間(1月～7月)実績

項目	単位	2014年度基準	2015年度目標	2015年度実績	評価	
		1月～7月	1月～7月	1月～7月		
二酸化炭素	kg-CO ₂	29,177	28,593	31,998	×	
内訳	購入電力	kWh	2,834	2,777	2,751	○
	ガソリン	L	1,498	1,468	2,637	×
	軽油	L	9,169	8,986	9,219	×
	灯油	kg	54	53	90	×
一般廃棄物排出量	t	0.04	把握	0.04	○	
産業廃棄物中間処理量	t	6	7	14	○	
収集運搬量	t	3,132	3,445	3,601	○	
事業所排出廃棄物量	t	2.7	3.0	4.8	○	
水使用量	m ³	17	把握	19	○	
グリーン購入の推進		環境配慮品優先購入		優先購入実施	○	
中間処理に関するクレーム	件	0	0	0	○	

※購入電力は、ほぼ計画通り取組をすすめられた

※水は使用量が少ない為、目標は定めないが、節水活動は継続実施する
 一般廃棄物排出量も少ない為、目標は定めず、年間を通じて把握し、評価する

<原因分析・是正処理・予防処置>

二酸化炭素 ガソリン 軽油	原因分析	仕事量増加によりガソリン、軽油が増加した。
	是正処置	年間を通じて把握、評価する。
灯油	原因分析	事務所にいる時間が増えた。
	是正処置	使用時間を減らすように努力する

VII 環境活動計画の取り組み結果とその評価 次年度の取り組み内容

目的	項目	活動項目	評価		今後(次年度)の取組	
			評価	内容	内容	
二酸化炭素の削減	照明	①消灯の徹底(1回/週チェックする)	○	徹底されている	継続実施	
		②人感センサーの導入	○	実施された	継続実施	
		③高効率照明機器の導入(LED化)	○	電球を一部LED化	継続実施	
	空調	①温度設定夏28℃ 冬20℃	○	表示	継続実施	
		②クールビズ、ウォームビズ	○	徹底されている	継続実施	
		③フィルター定期清掃	○	3ヶ月一度実施	継続実施	
		④使用していない部屋の空調停止	○	徹底されている	継続実施	
		⑤遮光対策	○	徹底されている	継続実施	
	設備・他	①停止時メイン電源OFF	○	徹底されている	継続実施	
	乗用車・トラック・他	①エコドライブ	○	徹底されている	継続実施	
		②日常・定期点検の実施	○	徹底されている	継続実施	
		③省エネ車の導入	○	計画作成	継続実施	
	廃棄物のリサイクル	事務所	①コピー用紙の両面使用	○	裏紙使用	継続実施
			②封筒の再利用	○	徹底されている	継続実施
			③集約化購買	○	徹底されている	継続実施
④3Rの実践			○	徹底されている	継続実施	
⑤廃棄物の分別とリサイクル			○	分別基準と実施	継続実施	
生業廃棄物・一般廃棄物		①古紙、カン、ビン、ペットボトル等の分別化	○	徹底されている	継続実施	
		②新規顧客の開拓	○	徹底されている	継続実施	
節水	上水	①節水表示	○	表示OK	継続実施	
		②社員への呼びかけ	○	徹底されている	継続実施	
グリーン購入	事務用品	①環境ラベル対応品の購入	○	実態調査	継続実施	
		②何回も使える物購入	○	ボールペン・他	継続実施	
	備品	①環境ラベル登録品の購入	○	コピー用紙	継続実施	
環境に配慮した自社の取り組み		①分別方法を示した冊子を作成	○	計画作成	継続実施	
		②顧客との挨拶等の教育	○	徹底されている	継続実施	
		③収集運搬時の安全運転	○	徹底されている	継続実施	
		④集積場の清掃	○	徹底されている	継続実施	

Ⅸ 環境関連法規等の遵守状況の確認及び 評価の結果並びに違反、訴訟の有無

1. 環境関連法規の遵守状況

当事業所に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

確認者 矢岸 雅隆

法規・条例・規制	適用内容または規制基準値	備考	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	廃棄物排出事業所との委託契約	契約(書)の締結	2016/7/1
	マニフェストの管理	B2表、C2表、D票、E票の返却	2016/7/1
	マニフェストの期間内返却	90日以内または180日以内	2016/7/1
	マニフェストの保管	5年間	2016/7/1
	投棄禁止	不法投棄を行わない	2016/7/1
	廃棄物の悪臭・飛散防止	車両荷台にシートを被せる等	2016/7/1
	保管場所への掲示	60cm×60cm 以上掲示	2016/7/1
	収集運搬車両の表示と書面携帯	確実に実施	2016/7/1
	マニフェストの年間集計と知事への報告	6月30日までに提出	2016/7/1
許可と許可書の更新	5年間	2016/7/1	
静岡県産業廃棄物の適切な処理に関する条例	委託先の現地確認と記録の保存	現地確認記録の保管	2016/7/1
三島市一般廃棄物処理に関する条例	一般廃棄物の分別排出		2016/7/1
	許可と許可書の更新	5年間	対象外
騒音・振動規制法	特定施設の届出	圧縮機	対象外
	基準値の遵守		
道路交通法	交通法規の遵守		2016/7/1
	点検の実施		
家電リサイクル法	指定家電の収集	テレビ・冷蔵庫 他	2016/7/1
PCリサイクル法	OA機器の収集	パソコン・モニタ 他	2016/7/1
環境基本法	一般的な自主努力		2016/7/1
地球温暖化対策推進法	温室効果ガス抑制措置	自治体施策へ協力	2016/7/1
循環型社会形成推進基本法	3Rへの努力	廃棄物等の内、有用な物の循環的な利用を促進	2016/7/1
建設リサイクル法	建設副産物のリサイクル	適正処理	2016/7/1
消防法	指定可燃物の届出	紙屑、プラスチック類	対象外

2. 違反、訴訟等の有無

関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟も過去1年間ありませんでした。

X 代表者による全体評価と見直し結果

作成 平成28年11月25日

項目		確認 : (必要に応じて評価・コメント記載)
1・見直し関連情報	1 エコアクション21文書	<input checked="" type="checkbox"/> 記録・文書として作成しました
	2 環境目標及び目標達成状況	<input checked="" type="checkbox"/> ガソリン、軽油、灯油は未達
	3 環境活動計画及び取り組み実施状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続して取り組みます
	4 環境関連法規要求一覧及び遵守状況	<input checked="" type="checkbox"/> 記録に記載いたしました
	5 外部コミュニケーション・対応記録	<input checked="" type="checkbox"/> 特に問題ありませんでした
	6 問題点の是正・予防措置の実施状況	<input checked="" type="checkbox"/> 別紙にて報告するようにします
	7 取引先、業界、関係行政機関、その他の外部動向	<input type="checkbox"/>
	8 その他()	<input type="checkbox"/>

2・代表者による全体評価・見直し指示	<p>起業したばかりなので、収集運搬量と、中間処理量の増加目標を重点に活動した結果、数量は増加し目標を達成した。反面、仕事量の増加に伴い軽油、ガソリンが増加した。 重点目標を達成した事により目標値の妥当性活動の有効性はありと判断する。 ただし、化石燃料については仕事量の増加に伴い当然の結果であるので年間を通じて集計し目標値の見直しを実施する。</p> <p>まだ始めたばかりであり環境方針や環境マネジメントシステムその他については変更の必要性はないと判断しますが、化石燃料については年間を通じて把握し、目標を見直すことを下記のような環境管理責任者に指示しました。</p> <p style="text-align: right;">平成28年11月25日 矢岸総業株式会社 代表取締役 矢岸 貞夫</p>		
	見直し項目	変更の必要性	「有」の場合の指示事項等
	1 環境方針	有(無)	
	2 環境目標	有(無)	化石燃料は年間を通じ、実績把握し目標を見直す
	3 環境活動計画	有(無)	
	4 環境に関する組織	有(無)	
	5 その他のシステム要素	有(無)	
	6 その他(外部への対応)	有(無)	

環境上の緊急対策

〈緊急時対策〉

想定される環境に於ける緊急事態について、環境への影響を最小限に食い止めること・内外への連絡を円滑に行うこと・可能な範囲で事前に想定、準備すること。また、定期的にその訓練を行う。
更に、緊急事態の発生や、訓練の後、対応の評価と改善策を行う。

想定のパターン	想定される緊急事態	原因	対応策
パターン 1	廃棄物置き場からの火災	・自然発火 ・溶接時における火花の飛び散り	・消火器の設置 ・防火用水タンクの設置 ・置場の整理・整頓

訓練記録

訓練日	想定される緊急時の状況	原因	対処・訓練等
2016.9.3	廃プラスチックの火災 溶接時の火災	自然発火 火花の飛び散り	・整理・整頓の確認 ・消火に対する迅速な対処
参加者		全社員	
※評価と改善策 廃棄物置場周辺は整理・整頓されているので有効性が確認できた 緊急時には焦らず行動するようにする			
訓練日	想定される緊急時の状況	原因	対処・訓練等
参加者		全社員	

環境コミュニケーション受付表

作成・管理担当:

NO.	情報 手日 入	情報 種類	通報者	通報方法	住所	内容	回答の 必要性	対応内容
					連絡先			
1	/	対策・苦情		電話・メール ()			必要・不要	
2	/	対策・苦情		電話・メール ()			必要・不要	
3	/	対策・苦情		電話・メール ()			必要・不要	
4	/	対策・苦情		電話・メール ()			必要・不要	
5	/	対策・苦情		電話・メール ()			必要・不要	